

平成22年度 学校に関するアンケート集計結果について

☑ 4-そう思う ☑ 3-どちらかといえば、そう思う ☑ 2-どちらかといえば、そう思わない ☑ 1-そう思わない

学校教育目標

1 教育方針・目標の理解	2 意欲的な学校生活	3 教師の連携協力
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。	子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。	学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

【学校から】OPTA総会や学校だより等において、本校の教育方針や目標についての周知を努めているが、よりいっそうの理解を図り、さらに多くの機会を捉えて説明をしていきたい。○項目2から、保護者や子どもたちのうち、95%以上が楽しく学校生活が送れていると回答している。さらに、内容の充実を図り、全ての子どもたちが楽しいと思える学校づくりを目指したい。

4 授業づくりの工夫	5 意欲的な学習態度
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

【学校から】○市教育センターの授業改善協力校として、研究に取り組んできた成果がアンケート結果に現れた。さらに、「わかる授業、楽しい授業作り」を目指して努力していきたい。子どもたちが意欲的に授業へ取り組んでいるかという点でも、成果が出ているが、さらに、意欲を高める授業の工夫、みんなが「わかる授業」を目指していきたい。

6 総合的な学習の時間の充実
子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

【学校から】○本校の特色を活かし、地域の自然や人材を生かした授業が年間計画に沿って展開されていることが、保護者や児童の評価を得ている。さらに、充実させていきたい。

道徳教育 心の教育

7 道徳、心の教育の充実	8 あいさつ、礼儀の励行
学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切に心の教育の充実を努めていると思いますか。	子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

【学校から】○新学習指導要領の実施を見越して、道徳推進教員を中心とした道徳の授業改善を図ってきた。教育課程に沿った日常的な取組と「心がけ月間」や「人権週間」等の行事による心の教育をさらに図っていききたい。家庭や地域と連携して、さらにやさしさを学び、思いやりや感謝の心を育てていきたい。○学校、児童、地域が一体となった「あいさつ運動」も定着してきた。全学級で、心のこもったあいさつ、相手に届くあいさつができるよう指導していきたい。また、学校外の帰り道や近所の人たちとの自然な挨拶、自分から進んで、誰にでも挨拶ができるようあわせて指導していきたい。

人権教育

9 一人一人の生徒の尊重	10 友だちへの思いやり
学校は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていると思いますか。	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

【学校から】○子ども理解に関する校内研修や校外の研修会等に積極的に参加することで、職員一人一人が自己研鑽に努めている。また、年3回の人権週間等をおとして、子どもや職員の人権意識の高揚に努めてきた。児童の理解を目的としたアンケートを実施し、児童の悩み等の早期発見に努め、すばやい対応や指導に努めている。また、金曜日の職員朝会を各学級から児童の様子について発表しあい、職員の共通理解を深めたり、問題解決に向けて全職員で取り組んでいる。全ての児童の人権が大切にされる学校を目指し、まずは職員の人権感覚を磨き、児童・保護者との連絡、連携を密にして理解を求めていきたい。

11 学校の支援体制
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

【学校から】○校内の特別支援教育推進委員会を中心に児童の個別の支援を図ると共に、職員の共通理解をすすめてきた。また、各家庭との連携や専門機関との連携による支援体制を整えてきたことが、評価に結びついている。今後もさらに努力していきたい。

生徒指導 教育相談

12 生徒理解	13 規範意識	14 いじめや問題への対応
先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。	子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。	学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

【学校から】○「いじめアンケート」の実施をはじめとして、児童の生活実態や悩み等に関して年3回、アンケートを実施し、児童理解を図ってきた。さらに、全児童に行った個人面談、すこやか会議の実施など、全校を上げて組織的にいじめ等の早期発見やに努め、すばやい対応や指導に努めてきた。現在、本校にはいじめや不登校児童はいない現状にある。○全ての児童の人権が大切にされる学校を目指し、さらに職員の人権感覚を磨き、保護者・地域との連携を密にして学校・家庭・地域をあげての取り組みを進めていきたい。

健康教育 安全

15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。

16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

【学校から】○学校安心メールを活用しての緊急時の情報発信に努めている。○防犯ベルの携帯や地区別による集団登校の実施、子ども見守り事業による校区巡回、PTAによる防犯用ののぼり旗の設置等により地域ぐるみの防犯を実施して子どもたちの登下校の安全確保に努めている。○「西里小学校学校安全協議会」を開催し、防犯協会や川上派出所等の関係機関との連携を密にしてきた。緊急時の協力体制と、防犯をさらに強化していきたい。○運動会等の行事や各学年のマラソン大会や縄跳び大会の取組など計画的に体力の向上を図るとともに、広い敷地を利用しての外遊びを奨励していきたい。また体育的行事の充実や部活動の加入率を上げるなどで体力の向上をさらに図っていきたい。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

【学校から】○急な降雨のため運動会が延期になり、児童や職員にとっては残念で、また保護者の皆様にご迷惑をおかけした。しかし、6年生にとって最後の表現等を元気に発表することができた。学芸会（ひびら祭り）等の行事では、保護者の協力のもと、盛況のうちに終わることができた。

学校環境

18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。

19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

【学校から】○年2回の除草作業と廃品回収やひびら祭りの実施など、清掃活動や文化活動などにおいてPTAと学校が連携を密にとることで環境美化や文化活動において充実した内容となっている。○今後も、「私たちの学校という意識」を保護者や地域の方々にもってもらうことによって、児童の環境美化に対する意識や郷土を愛する心をさらに育てていきたい。○毎月の安全点検の徹底とともに、施設・設備の安全管理には更に全職員で取り組んでいきたい。また、遊具の利用については、安全な遊び方を第一にさらに指導していく。○本校の自然豊かな学校環境を利用して、校舎内外がさらに整理整頓された美しく安全な学校づくりに努めたい。

情報の公開・発信

20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。

21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

【学校から】○学校長発行の学校便り（月2回）や学級担任による学級便りや学年便りで学校の情報を発信している。今後は、さらに学校における児童の様子や行事等における児童の活躍などを多く取り入れた紙面づくりの工夫などに心がけていきたい。○学校のホームページ作りに関しては、校内研修にて専門家を講師に迎え、効果的な画面構成や更新の仕方などを研修し、発信してきた。本校の教育活動や行事等の情報をさらに多く提供していきたい。また、より多くの保護者にホームページを見ていただけるように改善を図ってきたい。○学校安心メールへ加入して2年目を向かえ、活用している家庭も増えている。未加入の家庭には、PTAの連絡網等を利用してフォローを図っている。さらに緊急時の情報提供等に役立つように充実していく。学校安心メールを、本年度よりはじめ緊急時の情報提供に役立っている。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

【学校から】○授業参観ではたくさんの保護者の方の参加を得て、また、除草作業をはじめ、廃品回収、学年活動、学級活動等において積極的な協力をいただいている。○地域の方には、総合的な学習の時間における指導や支援、児童の安全確保の面での協力をいただいている。さらに、連携を進めていきたい。○月に2回の保護者（トトロの会）による全学級への読み聞かせや図書館の整備等、さまざまな場面での学校支援活動が盛んに行われて、児童を取り巻く環境が充実しているため、さらに進めたい。○保護者や地域の方々の支援に答えるためにも、学校はさらに連携を強め、教育活動の充実を図りたい。

来年度の具体的な取り組みについて

- 道徳教育・人権教育・環境教育の充実を基盤とした教育活動を推進することにより、あいさつや進んで働く態度、相手の立場を考えた言動のできる児童の育成を推進していきたい。
- 今年度の校内研修等の実績を踏まえ、さらに充実した研修を図ることで、児童一人一人に確かな力をつけるとともに、教職員としての授業力の向上を目指したい。
- 保護者や地域との連携をさらに密にし、児童の安全を確保していきたい。
- あいさつや進んで働く態度、相手の立場を考えた言動、廊下歩行などにおいて、良い方向へ進んできている。落ち着いた学校生活となっている。次年度は、さらに心のこもったあいさつ、一人一人が率先して働く児童等の育成に努めたい。そのためにも、道徳教育、人権教育、環境教育を含めた心の教育の充実を一層図ってきたい。
- 市教育委員会の平成22年度「授業改善協力校」の指定を受け、研究テーマの「思いや考えを表現する言葉の力を高める国語教育」を掲げ、学が喜びを実感する授業の創造を行ってきた。そして、平成23年1月19日に多くの先生方が参加される中に授業研究会を行い、充実した研修となり、子どもたちが主体的に学習

学校評議員会より

- 第8項目については、あいさつは、地域でよくできているように感じていた。さらに元気のいいあいさつや心のこもったあいさつができるように、家庭での働きかけに努めてほしい。
- 第13項目に関連して、中学校等における生徒指導上の問題を聞くが、小学校時代にも荒れる芽があるのではないかと推察する。小学校教育において規範意識を育てるような指導においてより一層努めてほしい。
- 環境教育の一環として、校舎内のたくさんの木々にネームプレートが付けてあり、子どもたちが自然に親しむ良い取り組みだと思う。さらに活用してほしい。プレートで付けてある木の名前と違ったものがあるので、見直しをしてほしい。（2ヶ所違っていたので、付け替えました。）
- 子どもたちの体力がないことが気になる。学校行事や体育の時間における体力作りや部活動やクラブ活動等において体力を向上させてほしい。
- 子どもたちが安心して楽しく遊べるように、遊具等の安全な使用の仕方等については、今後とも十分指導してほしい。

※保護者の皆様へ

アンケート記入へのご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果は、平成23年度の学校経営にかしたと考えています。保護者の皆様や地域の皆様と連携して、健やかな西里の子どもたちの育成に努めていきます。今後とも、西里小学校の教育活動へのご理解とご支援をお願いします。

平成23年3月2日 熊本市立西里小学校 校長 田畑博行